

# 進路だより

しづたに学園  
池田市立渋谷中学校  
2024. 7 その2  
No.5 進路担当

## ● 出前授業が行われました

7月5日（金）の5限、6限に、高校の先生による出前授業がありました。今回来ていただいた高校は、普通科以外の、専門学科や総合学科、専門コースを設けている高校です。専門学科や総合学科に進学する人は、普通科に比べて少ないですが、よく知らないせいもあるかもしれません。この機会に少しでも知って、進路選択の幅を広げてほしいと考え、計画しました。もうすでに志望校を決めており、今回来られた高校にあまり興味がないという人にとっても、高校は中学校と違うということが実感できる一つのいい機会になったのではないのでしょうか。自分の成長につなげてほしいと思います。以下、感想を紹介します。



- ・5 時間目は茨木工科高校の授業でマルチバイブレーターを作りました。学校の技術で行ったこともあって、その応用のような感じでとても楽しかったです。とても面白く感じてこんなことも自分には興味があるのだと思いました。
- ・イカの細菌で発光させるということをして、園芸高校ではいろいろな分野のことを幅広く扱っていて、選択の幅が大きいなと思った。高校の授業は中学校と違って、その高校に行かないとしないであろうことをやっていて面白いなと思った。
- ・内容は、看護師のなり方や体温計の測り方、看護師の魅力などです。看護師になると、人の役に立つことができるということがわかりました。体温計の測り方が今まで違っていたことがわかって、びっくりしました。また、脈の測り方が足の甲やおでこで測ることができると知りました。看護師っていいなと思いました。
- ・「少年の日の思い出」でのエーミールの発言を、違う視点で考えました。ほぼ全員が覚えていたそのセリフは、なにが印象的で記憶に残っていたのかを知ることができました。記憶に残るものの特徴を捉え、班でセリフを考えてみると、いろいろな意味がこもった言葉が出てきて、驚きました。作家さんはどのような効果があるかをわかっていて、最良の言葉を選んでいると思うと、とても興味深く思いました。好きだった作品を突き詰めてみることで、嬉しかったです。



- ・ラテラルシンキングという新しい考え方を知ることができた。当たり前や前提にとらわれずに考えることも大切だということを知った。ラテラルシンキングの例題は「こんな答えありなの！」っていう感じの答えだったので驚いたけれど、実は自分が当たり前や前提にとらわれていただけだったということを知った。

## ● 先輩からのメッセージ 前回の続きです。

- ・進路決定においてしっかり考えなければいけないことは、学校の雰囲気や自分に合っているかどうかです。私はもともと学校の知名度や周りからの印象、偏差値等から高校を選ぼうとしていましたが、実際にオープンスクールに行ってみると、もともと考えていなかったのに自分に合っていると感じた高校がありました。直前まで高校を悩んだのですが、今はその高校にしてよかったと思います。3年生の学習では、苦手な単元をなくすことが本当に大事です。夏休みは特に、1、2年の復習をするのがよいと思います。受験の時に解けない問題があると、その単元をなぜ完璧にしなかったのかと後悔したり、理科や社会はやるほど当日の得点は上がると思うので、後悔しないように頑張ってください！でも、どこの高校を選んでも、自分次第で最高に楽しい高校生活を送れると思います。
- ・その高校に進学するとしたら、何がメリットで何がデメリットなのかよく考えて、自分は選びました。自分は人との関わりが苦手だったので、少人数のところをメリットに考えました。デメリットは、今までよりもっと早く起きて早く家を出なければいけないところでした。他の学校も視野に入れていたけれど、オープンスクールに行ったらその学校は合わないと思ったから、今の学校にしました。結果として、友達もでき、通えているのでよかったと思います。自分の学校は、週1で農場に行き、農業の授業があります。
- ・進路というのは人によって異なります。しかし、全ての受験生は、苦勞して自分の進路を選びます。それは、楽な道を選ぶということではなく、勉強をいつもより1時間多くやる方を選ぶということです。私は、私を支えてくれた顧問の先生や担任や親に感謝を伝えたくて努力しました。努力する人は希望を語り、怠ける人は文句を語ります。受験生の皆さん、たくさん苦しんで強くなってください。苦勞していると自分が言ってしまうと、他の人はそれに干渉できません。だから、自分に厳しく、これからも励んでください。
- ・友達とかに流されて決めるとじゃなくて、自分の意志をしっかりと決めて後悔しないと思う。勉強のやる気がでない人は、無理やりでも五木などの模試を受けに行ったら、何もやらないよりはいいかと思う。私の高校は明るい人がめっちゃ多いけど、優しくてすぐに仲良くなれた。最初なじめるか不安だったけど、意外と大丈夫。
- ・できるだけたくさんの学校を見ること。公立、私立に関係なく、自分に合った場所を探すこと。仲の良い友達と同じ学校に行きたい気持ちもわかりますし、否定する気も全くありませんが、学校が違う方が、お互い支えあったり、関わりも深くなったりで、絆が強まることもあります。背伸びしすぎはよくありません。自分の体がもたなくなります。自分はわりと勉強が好きで、進路のことで否定されたりはなかったけれど、自身が他の子たちとたくさん比べて絶望したりいろいろでした。受験が終わった今でこそ思うのが、確かに本番勝負するのは、同じ志望校の友達や名前も知らない不特定多数の受験生たちですが、結局、自分の実力を上げるために勝負するのは自分なんです。自分自身と葛藤したり、過去の自分と比べたり。絶対自分自身に負けないでください。今自分が通っている高校は、自分に合った勉強ができるカリキュラムで、日々充実しています。大学進学を望んでいて、勉強も行事も力を入れたい人にはオススメです。